

# 民事判決データベースの活用について

読売新聞東京本社論説副委員長

富所 浩介

## 【1】民事 裁判取材の 現状

- (1) 裁判の傍聴
- (2) 裁判所や民間のDBを活用
- (3) 紙の判例集や論文を参照
- (4) 訴訟当事者や代理人弁護士  
の取材

⇒ DB機能としては、(2) (3) に  
掲載がない判決も

## 【2】なぜDB機能が 必要か

- (1) ニュースの価値判断
- (2) 訴訟のポイント整理
- (3) 全国的な傾向を分析する



## (1) ニュースの価値判断とは

①

ファスト映画は無断で切り貼りした映像や静止画にナレーションや字幕を入れ、元の映画のあらすじを説明した動画で、投稿者に賠償が命じられたのは初めて。2人は別の男とともに

②

を命じた。原告側弁護団によると、強制送還の手続きを違憲とした判決は初めてとみられる。

③

原告側によると、フリーランスのセクハラ被害は訴訟になることも珍しく、企業側の安全配慮義務違反を認定する判決は異例という。女性は「フリーランス

# (2) 訴訟のポイント整理とは

検索サイトからの削除や表示停止を求めた主な裁判	問題となった内容(請求先)	地裁		高裁	
	事件を起こした団体の加入歴(グーグル)	東京 請求棄却 (2013年5月)	×	東京 請求棄却 (13年10月)	×
犯罪への関与を連想させるサジェスト機能の表示(グーグル)	東京 表示停止と慰謝料30万円の支払いを命じる(13年4月)	○	東京 請求棄却 (14年1月)	×	
盗撮事件の逮捕歴(ヤフー)	京都 請求棄却 (14年8月)	×	大阪 請求棄却 (15年2月)	×	
児童買春事件の逮捕歴(グーグル)	さいたま 削除を命じる (15年6月)	○	東京 請求棄却 (16年7月)	×	
過去の逮捕歴(グーグル)	札幌 削除を命じる (15年12月、確定)	○	—		

※  は、最高裁に係属中

## 同性婚を認めない現行制度の違憲性が争われた「同性婚訴訟」での各地裁の判断

争点となった憲法の条文	憲法24条1項 「婚姻は両性の合意に基づいて成立する」	憲法24条2項 「婚姻などの事項は個人の尊厳などに立脚して制定する」	憲法14条1項 「国民は法の下に平等であり、差別されない」
札幌地裁判決 (2021年3月)	「婚姻」に同性婚は含まないため合憲	具体的な制度の構築を国会の立法裁量に委ねており、合憲	同性愛者が結婚で生じる法的利益の一部も得られないのは差別に当たり、違憲
大阪地裁判決 (22年6月)	「婚姻」に同性婚は含まないため合憲	今後、何らの法的措置がとられないことが違憲となる可能性はあるが、議論が尽くされていない現段階では合憲	パートナーシップ制度の広がりなどで利益の差は緩和されつつあり、合憲
東京地裁判決 (11月30日)	「婚姻」に同性婚は含まないため合憲	同性カップルが家族になるための法制度が存在しないことは、憲法に違反する状態だといえる	異性婚と区別して取り扱うことには合理的な根拠があり、合憲

### (3) 全国的な傾向を知る とは

- 2022/05/12 誤給付金返還求め提訴 阿武町 男性ほぼ連日出金
- 2022/04/23 コロナ誤給付4630万円返さず 山口・阿武町 刑事告訴など検討
- 2021/10/12 国会論戦の詳報 11日の衆院代表質問から
- 2021/10/12 元経産2官僚 罪状認める コロナ給付金詐欺 初公判
- 2021/09/23 [論点スペシャル]デジタル庁 新司令塔の課題
- 2021/09/18 自民党総裁選 共同記者会見 要旨
- 2021/09/16 給付金不支給で事業者が国提訴
- 2021/09/16 知らぬ間に訴訟の男起訴 持続化給付金詐取で=大分
- 2021/08/28 知らぬ間に訴訟の男逮捕 持続化給付金詐欺容疑で=大分
- 2021/07/04 [ニュース月録]2021年6. 1(火)~6. 30(水)
- 2021/06/27 B型肝炎訴訟 歩み紹介 和解合意10年 あすライブ配信=大阪
- 2021/06/07 B型肝炎訴訟相談会 12日、尼崎=兵庫
- 2021/05/12 [気流]5月12日(投書)
- 2021/04/16 性風俗に給付金 国側は争う姿勢 「本質的に不健全」

## 【3】 裁判 報道とDB

- 報道機関 = ①DBのエンドユーザー  
②利活用機関としての役割
- できる限り加工前の判決に接する  
⇒ ニュース価値や事実関係を判断  
⇒ 匿名化や配慮は報道機関の責務
- 概要、評釈
- 控訴中、上告中などリアルタイム情報